

オギャ〜!と生まれた
赤ちゃんからも
ひとり33,230円の
保険料!?

国保にしかない仕組み—
「均等割」「平等割」をなくせば
大きく改善します

国保料 引き下げを

高すぎる国民健康保険料に、悲鳴が上がっています

68歳と71歳夫婦

夫は寝たきり。年金だけでは暮らせず妻はパートに。
国保料を払ったら医療費が払えない。家賃も滞納。

40代夫婦

第2子誕生はうれしい!でも子どもの分の国保料が上がって心配。

京都市民の5人に一人が加入する国民健康保険は、医療を保障する「皆保険制度」の土台。高齢者、低所得者が多く加入する一方、保険料は、協会けんぽや健保組合と比べて1.3~1.7倍(政府試算)です。「均等割(加入者一人ひとりにかかる保険料)」「平等割(世帯にかかる保険料)」というしくみに大きな問題があります。

高い保険料が払いきれず、保険証を取り上げられ医者にかかれず重症化する事例も。

日本共産党が政策を **発表**

1兆円の公費投入で、「均等割」「平等割」をなくし、「協会けんぽ」並みの保険料に

全国知事会、全国市長会、全国町村会なども要求しています。

「均等割」「平等割」をなくせば、
京都市では、年収400万円の4人世帯で
保険料(年額) 397,480円→242,070円
(協会けんぽ 200,400円)

日本共産党京都市会議員団は、
10年前から
子どもの均等割軽減を **主張**

「子どもさんがたくさんいらっしゃる世帯の均等割については、何らかの軽減策というか、計算の仕方も改善していく必要があるんじゃないか」

(2008年4月 厚生委員会)

**京都市はただちに
均等割の独自軽減を**



他都市では、子どもの均等割などの
軽減がされています

仙台市 18歳未満の均等割を3割減免

加賀市(石川県) 18歳未満の均等割を2分の1減免

富士見市(埼玉県) 22歳以下の被保険者3人目から均等割免除

日本共産党京都市会議員団 市議会報告

2019年3月号 日本共産党京都市会議員団は次の見解を発表しました
発行: 日本共産党京都市会議員団 京都市中京区河原町御池 京都市役所内

TEL: 222-3728 FAX: 211-2130

E-mail: info@cpgkyoto.jp 京都市会議員団 検索